

羅の巷と變じ、怨火の土と化せんと欲す。而して彼の新疆一帶各城に駐戍する回兵も亦忽ち回匪と爲り、土民と力を協せて益暴戾を縦にせり。翻て今是等反徒の謀主とする者を看來れば、庫車の刺西曷任湖查は、和闐を除くの外、天山南路の汗と爲り、喀什噶爾回民は、浩罕に在りし張格爾の子、布蘇格湖查を汗と爲し、阿古伯（浩罕僧の）を其の補佐に任じ、和闐は虎必布爾拉なる者を汗に奉じ、葉爾羌は、穆爾拉湖查を汗とし、尼阿圖伯克を補官としたり。

同治六年（千八百六十七年）伊犁の七城悉く陷落し、將軍以下七萬五千人の兵員官吏、殆んど餘す所なく、彼等の毒手に罹りたり。既にして反徒又反徒と其の權力を争ひ、阿古伯の慄悍各汗を討ち、布蘇格を逐ひて遂に自立したり。是に於て土耳其帝彼を封じて、天山南路の阿密爾とす。

同八年（千八百六十九年）露國將軍カフマン盜賊鎮壓の名目下に伊犁を占領し、南路の阿古伯と通商條約を結べり。此の間清廷は漸く内部の亂を平定し、同治七年、先づ左宗棠を陝甘の總督に任せり。左宗棠乃ち兵器を整へ、賞罰を嚴にし、自ら陣頭に臨み、叛民征討の功、着々として現はる。

伊犁七城及
阿古伯の
自立

露國叛徒
と條約を
結ぶ